



高崎市議会

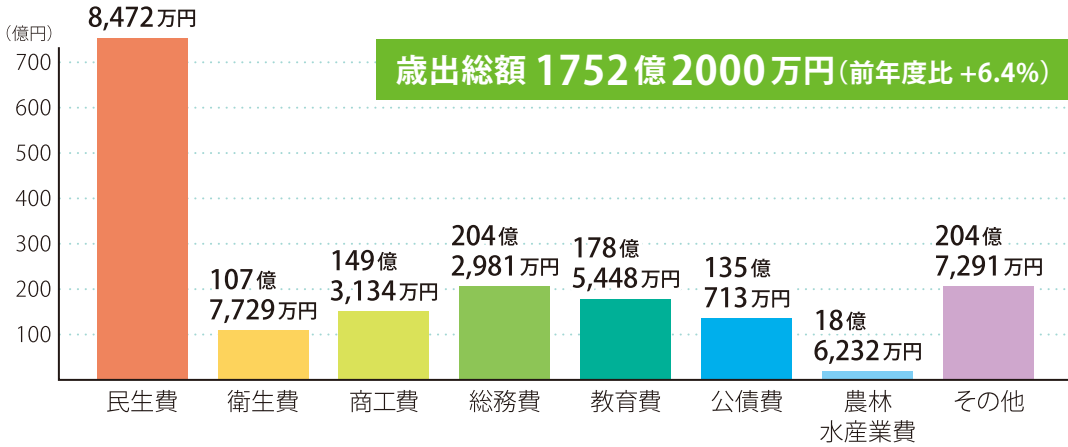
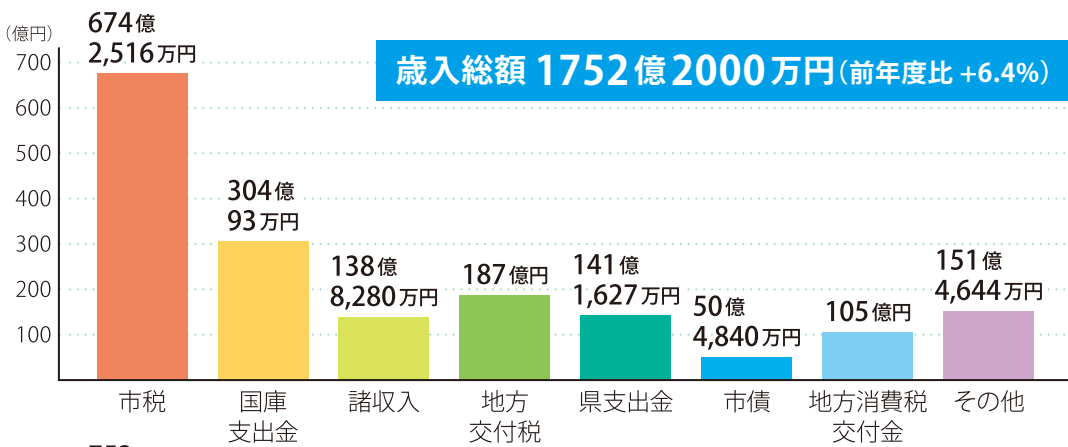


SHINPU KAIHO

令和8年春号

発行所 高崎市議会新風会広報局
発行責任 新風会広報局
〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpuikai.com/

一般会計



人口: 36万3,150人 世帯数: 17万4,771世帯 (令和8年3月31日現在)

主な新規・拡大事業

Table listing various projects such as '区長会70周年記念事業補助金' (350 million), '出張理美容サービス委託' (261 million), '総合保健センター照明LED化工事' (2.89 billion), etc.

2月20日から3月18日まで27日間の会期で市議会定例会が開催されました。富岡市長から令和8年度予算案が提出されました。

おおよび施策についての施政方針が示され、これに対して各会派から総括質疑が行われました。また一般質問

での質疑や各常任委員会、特別委員会にて予算の細部にわたり審査されました。審議においては新年度予算、令和7年度補正予算をはじめとする議案48件が上程され全会一致または賛成多数で原案の通り可決されました。

3月定例会のご報告

令和8年度予算を可決

新風会からのごあいさつ

3月の年度末は別れの季節です。卒園や卒業、人事異動などにより、慣れ親しんだ環境を離れる方も多くいらっしゃいます。一方4月は、桜の花とともに新たな出会いの季節でもあります。新入園・入学、そして新社会人としてのスタートなど、真新しいランドセルやビジネススーツに身を包み、それぞれが新たな環境で歩みを始める、令和8年度の幕開けの時期となります。

勢が続いており、先行きは依然として不透明な状況にあります。こうした中、本市においては新年度予算のもと、新たな施策がスタートし、令和8年度の各種事業が本格的に始動いたします。我々議員にとりましても、今任期の締めくくりとなる重要な一年となります。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総括質疑



樋口 哲郎

樋口哲郎議員が令和8年度予算および諸施策について、新風会を代表して総括質疑を行いました。質疑のテーマ、内容については次のとおりです。

1. 令和8年度当初予算について
事業の優先順位や重点配分と財政健全化の考え方

2. 教育と人づくりについて
学校給食費の完全無償化、市内全小学校の早期開門、学力アップ推進事業の内容について

3. 産業の振興について

高崎スマートIC周辺の集客施設等整備、「職場環境改善事業」の拡充内容、「堤ヶ岡飛行場跡地地区の活用事業」の進捗状況

4. 文化と歴史を活かした創造的な高崎について

「小栗公ゆかりの地観光促進事業」の内容、「スポーツ施設の環境改善とLED化」の整備方針

5. やさしい眼差しに満ちた市政について

「出産祝い金交付事業」、「放課後児童クラブの充実」の事業内容、「児童相談所の運営」の考え方、「長寿会活動等促進事業補助」について

6. 合併した地域の個性を活かした魅力づくりについて

「箕郷多目的運動場(仮称)」の整備状況、「榛名湖周辺の観光振興」の考え方、「合併20周年記念式典」の規模について

7. 安心・安全な地域社会づくりについて

「区長報酬等の増額」の内容、「窓口支援システム」

の導入、「自警団パトロール活動」の支援

8. 大勢の人が歩き、賑わう街について
「豊岡だるま駅」、「烏川かわまちづくり整備事業」の進捗状況

以上の質疑に対して富岡市長が答弁しました。



総括質疑 録画配信

賛成討論



長壁 真樹

3月定例会最終日に令和8年度一般会計予算および施策について新風会を代表して賛成討論を行いました。令和8年度予算は物価高や扶助費の増加により、過去最大の予算規模となる一方、市債の償還が進み、中核移行後最小となる1281億6032万円まで減少する見通しで堅実な財政運営が維持されている。地元企業を中心とした本市の経済活動を活性化させ、税収基盤の強化を図り福祉や教育、子育て支援などをより一層充実させる、市税収入が過

去最高を更新しており、経済活性化施策の成果が着実に税収の増加につながっていると考えられる。さまざまな施策に対し選択と集中による配分で本市をもっと元気にする予算編成がなされていることを高く評価する。予算の成立後、速やかかつ効率的な執行に努められ市民一人ひとりがその効果を実感できるように引き続きスピード感をもって市政運営にまい進していただくことを強く要望します。新風会も各種施策の推進と本市のさらなる飛躍に向けてしっかりと後押ししてまいります。以上をもって賛成討論といたします。



賛成討論 録画配信

春日部市・首都圏外郭放水路視察

浸水被害に悩まされてきた中川・綾瀬川流域を守るため、春日部市に建設された世界最大級の「首都圏外郭放水路」を視察しました。

この施設は、増水した中河川の水を地下トンネルで取り込み、江戸川へ放流する巨大な仕組みです。「地下神殿」とも呼ばれる巨大な調圧水槽は圧巻ですが、



その真価は確かな実績にあります。令和元年の台風19号では流域の雨の約3割を排出し、これまでに150回もの貯留を行うなど、浸水被害の軽減に大きく貢献しています。

地球温暖化により、雨の降り方は年々激しさを増しています。こうした先進事例を参考に、本市においても「市民の安全・安心」を最優先とした治水対策を、会派一丸となって研究・提案してまいります。

倉瀨ダム事業再開を 国土交通大臣に要望

倉瀨ダム建設の再開に向け、根岸議長をはじめ、柄沢・松本・樋口の各市議、兵頭副市長らが国土交通省を訪問し、「気候変動の影響を踏まえた治水機能増強のための迅速な調査を求める意見書」を、金子恭之国土交通大臣および関東地方整備局長に手渡しました。

倉瀨ダムは、用地買収および付け替え道路工事が既に完了していることから、早期かつ比較的低コストでの整備が可能であり、治水・利水の両面において利根川水系の防災力向上に寄与する重要な施設です。関東地域の住民生活を守るうえで、欠かすことのできないダムであると考えています。



倉瀨ダム建設予定地視察



近年、全国で相次ぐ記録的な大雨や台風の大規模化など、私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中、改めて本市の「水害対策」を見直すべく、かつて計画されていた倉瀨ダムの建設予定地を視察いたしました。

現地では、すでに完了している用地買収や道路整備の状況を直接確認しました。昨今の気候変動の影響を考えれば、過去の中止決定に捉われず、事業再開の可能性を含めた再調査が必要です。令和7年12月の定例会では、我が会派が提出した「気候変動を踏まえた治水機能増強のための迅速な調査を求める意見書」が可決されました。これから市民の皆様の安全・安心を守るため、高崎市や国とも力を合わせ、一歩踏み込んだ対策を求めてまいります。

全国地方議員勉強会に参加

2月2・3日両日、滋賀県大津市にある全国市町村国際文化研修所で行われた「人口減少社会における地域の課題」と題した勉強会に新風会有志で参加した。

やかであるが、人口減少が進んでいる。一方、地域で見ると倉瀨、榛名、吉井地域は減少幅が大きいという側面もある。我々新風会と致しまして、本市で進める人口減少対策等の施策を後押しすると共に、今回学んだことを活かして、研究し、提言してまいります。



一般質問

※以下、質問順で掲載しております。こちらに掲載している内容は、質問と答弁の一部です。全文および録画配信が高崎市議会ホームページにて随時アップされますので、そちらも是非ご覧くださいませ。

執：執行部答弁
議：議員発言

堤ヶ岡飛行場跡地と周辺開発について



青木 和也

堤ヶ岡飛行場跡地開発における事業の進捗状況は。

堤ヶ岡飛行場跡地では、最先端技術を有する企業の集積による新たなまちづくりを目指し、関係機関との協議を進めている。令和7年11月には群馬県環境影響評価条例に基づき環境影響評価に着手し、本年1月には地権者による土地区画整理準備組合も設立された。今後も地権者や関係機関と協議を重ねながら事業推進を図っていく。

西毛広域幹線道路の整備状況と堤ヶ岡飛行場跡地開発との関連は。

西毛広域幹線道路は、前橋市から高崎市を経て富岡市を結ぶ群馬県施工の重要路線であり、物流や観光、経済面で大きな効果が期待されている。全線開通は令和13年度を目標としており、高崎工区も順調に工事が進んでいる。整備により上信越地域からのアクセスが向上し、堤ヶ岡飛行場跡地のポテンシャル向上につながるものと考えている。

本事業は、県全体の発展を牽引する成長エンジンとなり得る、極めて戦略性の高いプロジェクトだ。市民にとって誇れる新たなまちづくりとなるよう、スピード感と実効性を持った事業推進を強く求めたい。

青木 和也
録画配信

デジタル技術を活用したまちづくりについて



渡辺 隆宏

国土交通省が進める「プロジェクト・プラトール」とはどういうものか伺う。

日本全国の都市をデジタルツインの技術で3Dモデル化することを目標に発足した、国土交通省のプロジェクトで、建物や街路をデジタル空間上で再現することで、精密なシミュレーションが可能になり、まちづくりや防災、自動運転のルート検証など地域が抱える課題を解決するためさまざまな活用が期待されている。また、官民間問わず誰もが使用でき、広くオープンデータ化されているところも特徴となっている。

導入に対する国の支援は。

都市空間情報デジタル基盤構築支援事業により、補助率については、さまざまなケースがあるものの、基本的には2分の1が国費によって賄える制度となっている。

本市におけるプラトール導入の展望について伺う。

都市データを3D上で再現することにより、まちづくりや防災、環境分野など多面的なDX化を推進することが可能となる一方で、導入にあたっては相当な費用を要し、データ更新等も必要になってくることから、先行事例等を研究し、将来的な費用対効果について慎重に見極めてまいりたいと考えている。

渡辺 隆宏
録画配信

高崎市における自治体DXの推進について



高橋 淳

人口減少・少子高齢化により生産年齢人口が減少し、市民ニーズも多様化している。DXによる業務効率化推進の狙いは。

システム導入で事務を効率化し、企画立案や市民相談など人でなければできない業務に職員の労力を重点化し、市民サービス向上につなげていく。

新設されるデジタル推進課の狙いと、本市のDX戦略の方針は。

限られた予算でDXを効果的に進める旗振り役としてデジタル推進課を新設する。デジタル活用の組織横断的調整やツール選定を行い、全職員がDX推進の課題を共有する体制を整える。

システムを使いこなし課題改善を重ねる職員のリスキリングや、業務を見直し最適化する取り組みを進め、デジタルによる高崎市の行政変革の推進を要望する。

高崎市民スポーツパーク(仮称)の整備状況について

整備事業の進捗と、一部オープンの内容は。

令和9年度中の一部オープンに向け整備を進めている。グラウンドゴルフ場7コース、パークゴルフ場2コース、駐車場300台、男女別トイレの供用を予定している。

新たな拠点にふさわしい施設とするため、地域に配慮した安全なアクセス環境の整備と、一体的なまちづくりの推進を要望する。

高橋 淳
録画配信

室田小学校統合に向けての取り組みと地域づくりについて



長壁 真樹

令和9年4月新設「室田小学校開校」に向けての検討状況および進捗状況は。

校歌については地域に所縁ある方に依頼、校章については榛名中、高経附属高校にデザイン案を依頼し児童保護者の投票で決定していく。通学用のスクールバスは8人乗り2台、25人乗り1台を購入する。また学校正面入口の道路を交互通行できるように整備し、桜の木については児童の安全を考慮し伐採予定となっている。また放課後児童クラブに関しては南側に増設工事を実施すると共に運営体制や各クラブで勤務する支援員等を継続雇用することから勤務条件の整備についても協議していく。令和8年度においては統合後の室田小学校開校に向けて特別教室の空調設備設置、トイレの改修工事、また移設委託料、学校印や校旗等の備品購入費含め1565万円を計上している。

学校跡地利用も地域の関心事である、体育館や校庭など廃校となってもこれまでと同様、地域活動に利用させていきたい。また地域づくり交付金や小学校単位での組織においても激変緩和の措置を講じていただきたい。

長壁 真樹
録画配信

本市における子育て支援について



大河原 吉明

保護者の負担を軽減するサービスとして、毎月定額料金で紙おむつとおしりふきが保育所等へ直接届いて使い放題となる、紙おむつのサブスクが全国的に注目されているが、本市の認識は。

保育所等へ子どもを送り出す保護者にとっては、おむつに名前を書く手間が省けたり、毎日の持ち物の準備や買い出しの負担が減ったりといったメリットがあると認識している。また保育現場の職員にとっても、園児ごとのおむつの個別管理が不要になったり、他の園児のおむつとの履き間違いを防げたりといった業務負担が軽減でき、その分、保育の質の向上につながられる有効なサービスと認識している。

公立保育所等へ紙おむつのサブスクを試験的に導入してはどうか。

試験的な導入は、現実的な課題を洗い出す有効な手法であると認識している。これらのメリットやデメリットを考慮して、先行事例などを参考にしつつ、しっかりと研究していきたい。

紙おむつのサブスク導入は、本市の子育て支援にとどまらず、非常時の備蓄品としても活用することもできるので前向きに検討してほしい。

大河原 吉明
録画配信



1月14日、群馬県市議会議長会臨時総会にて会派の後藤彰副議長が群馬県より地方自治功勞の感謝状をいただきました。

地方自治功勞感謝状



本市の放課後児童クラブは運営委員会方式を基本に利用児童数と利用率は毎年上昇しています。クラブ数は105クラブ(58校区)101クラブが運営委員会方式4クラブが直営。利用児童数は4551人(小学校児童数は17403人)職員数は611人(常勤211人・非常勤400人)本市では令和7年に放課後児童クラブ支援課を設置し運営に係る保護者負担の軽減や支援員の確保への支援を行い児童の健全育成環境の充実を図っており、「一般社団法人 高崎学童」が連携し人材の募集等を進め支援員の確保が図られています。

塚沢小・城東小・桜山小 「放課後児童クラブ」増築

議会こぼれ話

第2回 市議会議員章(バッジ)について

私たちは日々、市議会議員バッジを胸に活動しています。このバッジは当選後に貸与されるもので、議員の身分を証明するだけでなく、その重みを感じるたびに身が引き締まる「責任の証」でもあります。

また、長く務めるなかで授与される「永年勤続」の徽章があることをご存知でしょうか。全国市議会議長会より、勤続10年を節目として5年ごとに贈られるもので、最大の特徴は中央にはめ込まれた「色石」です。

勤続年数によってその色は異なり、積み重ねてきた経験と、市民の皆様の信頼の重みが形になったものと言えます。これからもこの輝きに恥じぬよう、初心を忘れず市政に邁進してまいります。



市議会議員章

ルビー

スピネル

| |
|------------|
| 15年以上 |
| ルビー |
| 20年以上 |
| スピネル |
| 25年以上 |
| ジルコン |
| 30年以上 |
| ゴールデンサファイア |
| 35年以上 |
| エメラルド |
| 40年以上 |
| アメジスト |
| 45年以上 |
| ガーネット |

第67回高崎市子ども会「上毛かるた大会」が1月18日、高崎市子ども会育成団体連絡協議会の主催のもと、高崎アリーナにて開催された。近年は地域の育成会の減少が課題となる中で、その育成会が中



上毛かるた

の期待が高まる1日となった。なお、小学校3・4年の部、5・6年の部、中学生の部の上位2チームは2月に行われる県大会へと進み、5・6年の部では高崎市代表の菅谷子ども会が優勝した。

心となり運営を支えている本大会は、群馬の冬の伝統行事として定着している。市内29小学校区から小学生約500人、中学生約40人が参加し、郷土の歴史や先人の功績に触れながら熱戦を展開した。今回から親子の部も新設され、抽選で選ばれた10組が出場し、和やかな交流の場ともなった。会場は105面のコートが設けられ、団体戦・個人戦ともに真剣勝負が繰り広げられた。親子の部の新設など新たな参加の形も広がり、活動の裾野拡大への

新風会所属議員一覧 ~市政に関するご相談はお近くの議員まで~

会長
柴田 和正
しばた かずまさ
高崎市金井淵町259
☎027-343-7161

副会長
柄沢 高男
からさわ たかお
高崎市上里見町197
☎027-374-4304

副会長
渡辺 幹治
わたなべ かんじ
高崎市倉賀野町1684
☎027-346-6133

幹事長
松本 賢一
まつもと けんいち
高崎市新町1652-5
☎090-6033-8421

副幹事長
白石 隆夫
しらいし たかお
高崎市石原町4049
☎090-3234-0748

政調会長
樋口 哲郎
ひぐち てつろう
高崎市吉井町馬庭827-1
☎090-3245-0195

議会対策委員長
大竹 隆一
おおたけ りゅういち
高崎市吉井町片山895-2
☎027-387-4390

広報
長壁 真樹
おさかべ しんじ
高崎市中室田町甲525
☎027-374-3384

会計
高橋 淳
たかはし じゅん
高崎市山名町492-1
☎090-9019-7800

会計監査
青柳 隆
あおやぎ たかし
高崎市箕郷町下芝594-1
☎027-371-2870

顧問
丸山 和久
まるやま かずひさ
高崎市江木町1111-1
☎027-323-8855

顧問
石川 徹
いしかわ とおる
高崎市箕郷町東明屋106-1
☎027-371-3344

後閑 賢二
ごかん けんじ
高崎市塚田町222-2
☎027-373-2214

高崎市議会議長
根岸 赴夫
ねぎし ゆきお
高崎市上中居町407-5
☎027-326-0635

時田 裕之
ときた ひろゆき
高崎市浜川町
☎090-4948-4450

高崎市議会副議長
後藤 彰
ごとう あきら
高崎市乗附町1563-27
☎027-328-5100

大河原 吉明
おおかわら よしあき
高崎市京目町1634-6
☎090-9385-8680

青木 和也
あおぎ かずや
高崎市福島町740-7
☎090-5442-8248

渡辺 隆宏
わたなべ たかひろ
高崎山下齊田町
☎070-3784-9871

高崎市議会 新風会
〒370-8501
群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
<https://shinpukai.com/>

